

(様式3)

事業所名 グループホームだんらん

目標達成計画

作成日: 令和 4 年 11 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	・火災、地震等の自然災害時や感染症発生時にも業務を継続するための「業務継続計画書」の策定と「シュミレーション実施訓練」が行えていない。	・法人内の勉強会を基にして、作成する。 ・備蓄品の洗い出しと不足品の準備をする。 ・感染症発生時でも、感染拡大の防止対応をしながら、日常業務が継続するための計画書策定をする。	・備蓄品の洗い出しと不足品を、早急にリストに書き出す。 ・法人内の勉強会と素案を基に、グループホームとしての計画書を作成する。	5ヶ月
2	38	・一人ひとりのペースを尊重しつつも、職員の都合でのタイムスケジュールに、利用者様を合わせている。 ・個々がどう暮らしたいかの希望にしっかりと向き合っていない。	・一人ひとりが「当たり前自分らしい暮らし」が実現出来る支援をする。 ・一人ひとりが社会の一員として、生きがいを持つ暮らしをする。	・一人ひとりのモニタリングを再度行い「その人らしい」とはなにかを検討していく。 ・職員のタイムスケジュールの見直しをする。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。
複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成してください。